

カザグルマ 公開報告会 開催しました。



1月30日(土)公開報告会「カザグルマを守る ～ 関東圏のカザグルマはいま・・・」を、相模原市立博物館、相模原のカザグルマを守る会、(公財)相模原市まち・みどり公社の共催で開催しました。

相模原市内に自生が確認されている希少種パテンス系クレマチスの母種「カザグルマ」(*Clematis Patens*)について、市民の皆さまに環境保全の重要性や希少種の保全活動について理解を深めていただくことを目的に、関東圏でカザグルマに関する各種活動を行う団体にお集まりいただきました。

カザグルマ研究家 飯島 眞氏が「絶滅危惧植物カザグルマの生態と保全」について、東京都立翔陽高等学校教諭 三池田 修氏が「カザグルマの遺伝的変異と保全」について講演を行いました。その後、保全活動を行なっている「相模原のカザグルマを守る会」、「陣ヶ下自然愛好会」、「船橋のカザグルマをまもる会」や、組織培養と自生地への移植をおこなっている「神奈川県立中央農業高校草花部」がそれぞれの保全活動を発表しました。ミニシンポジウム「カザグルマ保全のタクティクス ～ 関東圏のカザグルマを救えるか」では、活発な意見交換が行われ、保全・絶滅回避について必要な対策を考える良い機会となりました。



今後、多くの方に保全活動への関心を持っていただけるよう、このような機会を増やしていきたいと思っております。

Facebook
 みどりの情報発信



Facebookもご覧ください。